



ポスターセッション



ファイナル（決勝戦）

Day1/Day2 ハイライト



フューチャーデザインセンター最高顧問
小宮山宏氏



キッコーマン名誉会長
茂木友三郎氏



駐日米国大使
ジョン・V・ルース氏

初日の朝、大会に参加する18チームをはじめとする関係者が柏の葉アーバンデザインセンターに集結。オリエンテーションの後、「柏の葉スマートシティ」「東京大学柏キャンパス」などの視察と歓迎夕食会が実施された。

2日目は一般参加者も来場した講演会、アワード参加企業によるポスターセッション、メンタリング・セッション、パネルディスカッションが行われた。ポスターセッションでは参加企業のパネル展示に熱心に質問する一般参加者の姿が目立ち、各チーム個別に行われたメンタリング・セッションでは、緊張の面持ちの中、翌日のプレゼンに備え、ビジネス経験豊富なベンチャー支援者の意見に耳を傾けた。

以下に主催者挨拶、基調講演を要約する。

●主催者挨拶● 小宮山氏：現代社会は、長寿、人工物の飽和、アジアの世紀に集約される。これらが環境・エネルギー、食料等課題につながっている。工業製品が飽和状態でも生産効率は上がり、雇用が減り仕事が不足している。その一方で現代人が欲する文化や美しい環境、生態系、人々の交流をいかに創るかが問われている。今こそ世界共通のビジョンが必要であり、私はこれを「プラチナ社会」とし提案している。それにはイノベーションと起業家の力が不可欠である。

●基調講演● 茂木氏：閉塞した日本経済の活性化には新陳代謝を進め、新たな産業や企業が市場に入ってくる必要がある。そのためには規制の撤廃・緩和、市場を支える基盤づくり、税制改革等社会インフラ整備も重要だ。さらに地方分権を進め、各県がベンチャーを育て競い合う機運も必要だろう。これが東北地方の復旧・復興にも役立つはずだ。私がベンチャーに期待したいのは、需要を創造すること。そのための努力の積み重ねであり、日本全体の経済成長実現への貢献につながる。

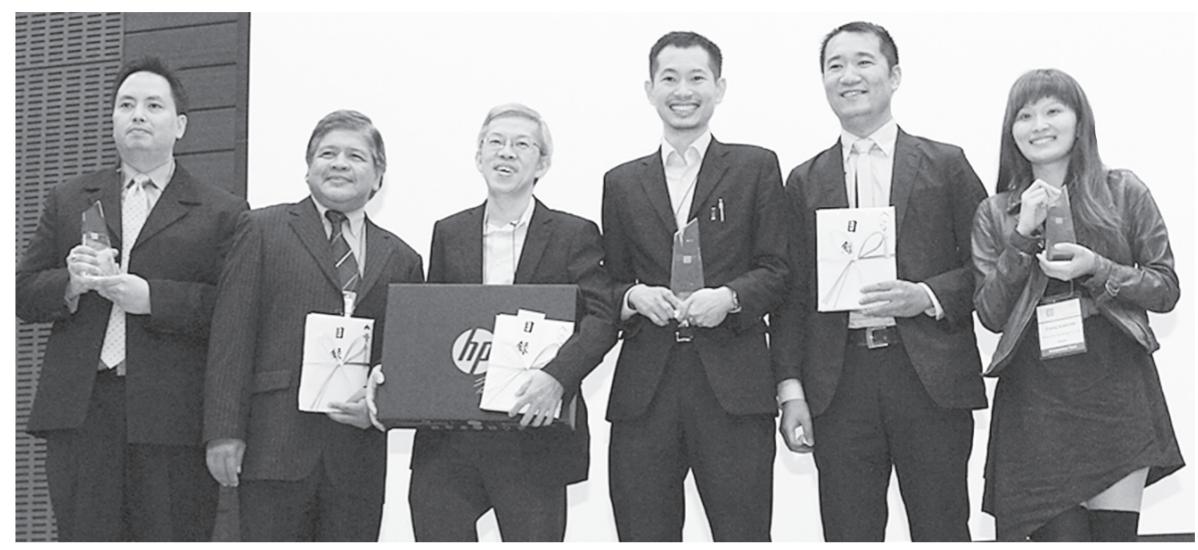
●特別講演● ルース氏：新興企業は破壊的イノベーションを生み出すことで、成長産業の礎になる可能性がある。私は起業家や、彼らが生み出す新たな雇用や社会資本を信じている。健全な起業環境は一国の経済だけでなく、グローバル経済を強くするものだ。例えば地球温暖化対策にはグリーンテクノロジー、医学はバイオテクノロジーで進化をもたらすことが可能である。私は成功を促す起業環境に最も重要なのは、起業家を称賛し、失敗を容認することだと思う。

Day3 ハイライト

Day2 のメンタリング・セッションでのアドバイスを存分に反映して各社熱いプレゼンテーション合戦を繰り広げ、審査の結果、勝ち抜いたタイ、シンガポール、インド、フィリピン、香港、台湾からのチームによって決勝が行われた。

優勝	Clearbridge BioMedics Pte Ltd (医療機器 シンガポール)
準優勝	Neugent Technologies (電子分野の研究開発・製造・ソフトウェア開発 フィリピン)
第3位	WorkLohas Technology Co., Ltd (IT 台湾)
千葉県知事賞	Flexoresearch Group Co., Ltd (パルプ、製紙、印刷、廃棄物リサイクルなどの研究開発 タイ)

優勝（賞金：300万円・副賞）ほか計3社の入賞者を決定した（下表）。フェアウェル・レセプションでは千葉県知事賞が贈られた。優勝および千葉県知事賞受賞企業には、インキュベーション施設「東葛テクノプラザ」への3年間無料入居権も贈られた。



入賞した上位3チームのメンバーの喜びの表情

間で実施された政府間会合「イノベーション・起業・雇用創出のための日米対話」においても、起業の促進、国境を超えたネットワーキングの促進および支援政策が両国間協力インチチアチブとして確認された。本アワードはその政策の一環である。これが受け、会期2日目には、ジョン・V・ルース駐日米国大使が講演した。

第1回となる今大会には、初回にかかるわらず12の国・地域から18チームが高高い技術とボテンシャルを持ったビジネスプランを持ち寄った。

大会初日の観察、2日目の講演、パネルディスカッションなどに引き続き、興奮が最高潮に達したのは3



アジア・アントレプレナーシップ・アワード ノミネーション委員会委員長

各務茂夫氏

日没午後に行われたファイナルプレゼンテーション。午前の準決勝を経て、決勝に残った6チームが質の高いプレゼンテーション合戦を繰り広げた。情報通信技術（ICT）、バイオテクノロジー、環境技術など最先端技術レベルの多彩な製品やビジネスモデルが示され、起業支援者や投資家など多くの来場者の高い関

心を惹きつけた。

その後行われたセレブションには森田健作千葉県知事が出席し、タイの企業に千葉県知事賞が授与した。今大会の印象をノミネーション委員会委員長の各務茂夫東京大学教授に聞いた。

「大会は予想以上の成果をもたらした。各ノミネーション委員の尽力による質の高いベンチャーの参集、グローバル規模で知恵を結集していく機運の創出が今こそ求められている。眞の意味で持続可能な社会を地球規模で創造するためにも、起業育成に向けた支援が欠かせない。

先ごろ、経済産業省と米国国務省が、一大拠点の形成を目指すものだ。現在、世界には環境、エネルギー、貧困など、立ち向かうべき課題が山積する。先進国に先駆けて日本が直面する少子高齢化も早晚世界に広がる。これらを解決していくための柔軟な発想で創出されるベンチャー支援者の意見に耳を傾けた。

日本がイニシアチブを取ってグローバル規模で知恵を結集している。眞の意味で持続可能な社会を地球規模で創造するためにも、起業育成に向けた支援が欠かせない。

フェアウェル・レセプションにて。左は優勝のスピーチ。下は千葉県知事賞授与の模様

最先端の製品・ビジネスモデル示す えりすぐりのベンチャー集結

最先端の製品・ビジネスモデル示す



三井不動産社長 萩田正信氏

本アワードに挑んだ各チームのプレゼンテーションは、刺激と発見に満ちていました。当社グループは、柏の葉キャンパスエリアにおいて産学官と連携し、スマートシティ開発を進めています。低炭素型の社会へエネルギーを賢く使う「環境共生都市」、超高齢社会に対応した「健康長寿都市」、若い起業家やベンチャー企業を地域で支援する「新産業創造都市」——この3つが我々の目標どころです。起業家が最先端技術や世界の人々とともに、日常的に評価を受けることで日本の起業活動も本物になっていくことを期待しています。この日本主導のアジア連携、イノベーション創造プロジェクトの成功および今後の継続により、成熟社会とされる日本に必要な新たな芽をもたらすことが期待されている。

この日本主導のアジア連携、イノベーション創造プロジェクトの成功および今後の継続により、成熟社会とされる日本に必要な新たな芽をもたらすことが期待されている。起業家のみならず、ベンチャーを育成する学術研究機関、民間企業、ベンチャーキャピタル、個人投資家を世界から集め、ベンチャーが連鎖的に生まれ育つ「エコシステム（生態系）」の構築を進めることが本アワードの目標であり、来年度以降の飛躍に向けた課題でもある。

主催者であるFDCは、環境・資源、食料、医療、教育の問題に対して、課題解決の先進モデルを示すことを目的とした実践型シンクタンク。本アワード開催を通じてアジアの若い起業家を招へいし、起業家同士の国際ネットワークを育むとともに、社会の課題解決に果敢に挑戦する彼らの活躍を奨励し世界へ発信する。共催者のTEPはTX沿線を中心に産学官、個人の連携による持続可能なベンチャー支援ネットワークを構築する任意組織であり、沿線エリアの先端技術を事業化する創業育成環境の充実を図っている。

こうした経緯で、柏の葉で、アジアならびに世界の経済発展の礎となる起業家育成のための本アワードが創設、開催されたことは、日本発ベンチャーの育成に弾みをつけ、日本が世界に誇る高い技術力を社会に還元させるために大変意義深いことである。

最先端技術・人材が集積する 環境未来都市「柏の葉キャンパス」

本アワードの開催地となった千葉県柏市・柏の葉キャンパス。主催・共催者のフューチャーデザインセンター（FDC）、TXアントレプレナーパートナーズ（TEP）をはじめ教育、研究機関、インキュベーション施設が立地し、最先端の技術や優れた人材を集積する。昨年12月に日本政府により選定された「環境未来都市」および「地域活性化総合特別区域」（柏市全域）の1つとして、世界に向けたモデル都市になっている。



柏の葉地域空撮（一部完成予想CG合成）

FUTURE DESIGN CENTER

一般社団法人フューチャーデザインセンター

協賛

インテル株式会社 日本ヒューレット・パッカード株式会社 キッコーマン株式会社 株式会社 TOKYO AIM 取引所 瑞安グループ 新日本有限責任監査法人 株式会社千葉銀行 アクセンチュア株式会社 イソリューションズ株式会社 株式会社東京大学エッジキャピタル 首都圏新都市鉄道株式会社

後援

経済産業省 柏市 つくば市 公益財團法人東京都中小企業振興公社 独立行政法人産業技術総合研究所 柏商工会議所 日本ベンチャー学会 一般社団法人日本ベンチャーキャピタル協会 社団法人日本ニュービジネス協議会連合会 一般財団法人ベンチャーエンタープライズセンター 一般財団法人高度技術社会推進協会



柏の葉をアジアのイノベーション創出の大拠点へ

柏の葉キャンパスは、東京・秋葉原と茨城・つくばを結ぶつくばエクスプレス（TX）沿線の中心に位置しながら、都心にない緑豊かな自然環境と多くの先進技術、研究、人材が集まる研究開発拠点にふさわしい場である。

主催者であるFDCは、環境・資源、食料、医療、教育の問題に対して、課題解決の先進モデルを示すことを目的とした実践型シンクタンク。本アワード開催を通じてアジアの若い起業家を招へいし、起業家同士の国際ネットワークを育むとともに、社会の課題解決に果敢に挑戦する彼らの活躍を奨励し世界へ発信する。共催者のTEPはTX沿線を中心に産学官、個人の連携による持続可能なベンチャー支援ネットワークを構築する任意組織であり、沿線エリアの先端技術を事業化する創業育成環境の充実を図っている。

こうした経緯で、柏の葉で、アジアならびに世界の経済発展の礎となる起業家育成のための本アワードが創設、開催されたことは、日本発ベンチャーの育成に弾みをつけ、日本が世界に誇る高い技術力を社会に還元させるために大変意義深いことである。

広告

企画・制作=日本経済新聞社クロスメディア営業局